

房日新聞

THE BONICHI SHIMBUN

8月19日(火)

令和7年(2025年) 旧暦 6月26日(先勝)

第22018号

天気	南西の風のちやや強い 降水 06-12 12-18 18-24 確率 10 0 0 (鏡子地方気象台)			
潮位	満潮 干潮	一時一分/16時06分 07時26分/20時14分	若潮 (布良)	

【発行所】房州日日新聞社

本社 〒294-8691 館山市北条2199-4

広告・購読 / 電話 0470(25)5552

取材・情報 / 電話 0470(25)5530

房日観光 / 電話 0470(25)5505

鴨川支局 〒296-0001 鴨川市横渚1113-1

取材・情報 / 電話 04(7093)6401

©房州日日新聞社 2025

耐震構法 SE構法

在来工法では難しかった
「大空間 × 高耐熱」を可能に

県南で唯一の「SE構法」加盟会社

渡辺建設株式会社
館山市北条2365 TEL.0470-22-0613

入居者募集

特定施設入居者生活介護

要介護(要支援)認定を受けた方が、
サービス付き高齢者向け住宅に居住し、

再点灯100周年イベントにぎわう

南房総市の野島埼灯台

地域内外から650人

南房総市白浜地区の野島埼灯台で、再点灯100周年を記念したイベントが15日から始まった。100周年当日の同日には、記念品の配布や「夜間特別開放と星空イベント」などが催され、地域内外から約650人の来場があり、にぎわった。

関東大震災で倒壊した同灯台が再建、再点灯されてから、今年の8月15日で100周年を迎えるに当たり、企画。野島埼灯台利活用プロジェクト委員会が主催し、同市や燈光会、野島埼支所、千葉海上保安部などが後援している。

この日は、記念ポスターカードや「燈(あかり)の守り人」とコラ



再点灯100周年を迎えた野島埼灯台



うみまると記念撮影する親子=いずれも南房総

念撮影をしたりする家族もいた。

夜に行われた「夜間特別開放と星空イベント」には、約30人が参加。同灯台の展望台から夜の海や、星空の眺めを楽しんだ。

旅行で訪れた神奈川県小泉和之さん(33)は「城ヶ島灯台(神奈川県三浦市)に行ったことがあるが登れなかった。野島埼灯台は

登れると知り、目的の一つにした。思ったより登るのは大変だったが、貴重な経験でした」と感想。息子の怜央さん(7)は「はしが急で怖かったけれど、楽しかった」と笑顔だった。

(清水利浩)

館山市俳句連盟が、11月1日に開かれる第78回市文化祭俳句大会の出品作を募集している。夏・秋の未発表3句を郵送する。大会は同日午前9時半受け付け、同市北条の菜の花ホール。9月5日締め切り(必着)。会費は2000円(定額小為替)。

特攻艇格納壕などを見学

23人が地域の戦争の歴史学ぶ

鋸南

鋸南町道の駅保田小学校が主催する、戦争遺跡ガイドツアーが、同町で行われた。3日間、安房地域内外の23人が参加し、特攻艇の格納壕(こう)などを見学。戦争当時と現在のつながりに思いをはせた。

同道の駅が、終戦80周年に当たり、多くの人に戦争と平和について考えてもらおうと企画。地域の歴史を研究している同町の山本正

大さん(41)が依頼を受け、ツアーガイドを務めた。

ツアーでは、同町岩井袋から勝山まで約5キロを歩きながら、水中特攻艇「海龍」や水上特攻艇「震洋」を格納するために造られた素掘りの壕などを見学。山本さんが、南房総の水上、水中特攻基地の配置図など資料を示しながら、岩井袋に第1特攻戦隊第18突撃隊の



特攻艇の格納壕を見学する参加者ら=鋸南

歴史を学びたくて参加した。突貫工事で造られたのだから素掘りの壕を見て、明らかに負けると分かっている

(前木深音)

押本さんが3年連続V

年金友の会丸山支部

ひまわりコンクールで

J A安房



茂の押本智恵子さん(78)のロシアヒマワリが、最高記録となる直径43センチで優勝した。押本さんは3年連続の優勝となった。

ヒマワリの花の大きさを競い合う「ひまわりコンクール」が、JA安房丸山支部が、JA安房丸山支部で開かれた。南房総市丸山地区から過去最多となる96点が出品され、同市加